

日本視覚学会 2010 年夏季大会プログラム

期 日：2010 年 8 月 2 日（月）・3 日（火）

場 所：東京工業大学すずかけ台キャンパス すずかけホール

〒 226-8503 横浜市緑区長津田町 4259（東急田園都市線すずかけ台駅より徒歩 8 分）

（アクセス <http://www.titech.ac.jp/about/campus/s.html>）

主 催：日本視覚学会

- 口頭発表は発表時間 15 分，質疑 5 分の計 20 分です。
- 口頭発表では PC 用プロジェクタ（D-sub 15 ピンまたは DVI 接続）が使用できます。それ以外の機器をご希望の方は早めに実行委員会にご連絡ください。講演者は発表セッションの前に使用機材のご確認をお願いいたします。
- ポスター発表用のパネルの大きさは幅 120 cm×高さ 175 cm です。取り付け用のピンは会場で用意いたします。ポスターは 8 月 2 日の 13 時頃から 8 月 3 日閉会時まで掲示しておくことができます。
- ポスターは 2 日間のポスターセッションを通して掲示してください。ポスター発表の在席責任時間は、奇数番号が 8 月 2 日 14:40~16:10，偶数番号が 8 月 3 日 10:30~12:00 です。
- 口頭発表は 3 階多目的ホール，ポスター発表は 3 階ラウンジで行います。
- 学生会員の発表（口頭発表およびポスター発表）を対象に、「ベストプレゼンテーション賞」の選考を行います。
- 使用言語は日本語または英語とします。

1 日目 (2010 年 8 月 2 日 月曜日)

- 13:00-13:10 開会 実行委員長 横井健司 (防衛大学校)
- 13:10-14:30 セッション 1 座長: 水科晴樹 (ATR)
- O1 視認性評価のための注視対象の分割について
江川 陽¹, 白山 晋^{1,2} (東京大学工学系研究科システム創成学専攻¹,
東京大学人工物工学研究センター²)
- O2 画像の情動成分がもたらす瞳孔径の変化
竹内龍人^{1,2}, AnupTuladhar^{1,3}, 白間 綾^{1,2}
(NTT コミュニケーション科学基礎研究所¹, JST CREST², University of Waterloo³)
- O3 Saccade 終端分散の前向き抑制モデル
藤田昌彦 (法政大学工学部)
- O4 位相符号化法と追跡眼球運動を用いたヒト MT/MST 野のレチノトピー構造の測定再現性及び機能的裏付け
山本哲也^{1,2}, 山本洋紀³, 眞野博彰³, 梅田雅宏⁴, 田中忠蔵⁵, 河野憲二²
(京都大学こころの未来研究センター¹, 京都大学大学院医学研究科²,
京都大学大学院人間・環境学研究科³, 明治国際医療大学医療情報学教室⁴,
明治国際医療大学脳神経外科⁵)
- 14:30-14:40 休憩
- 14:40-16:10 ポスターセッション 1
- P1 Representational Momentum による歩行運動予測の検証
門脇拓生¹, 蒲池みゆき² (工学院大学大学院工学研究科情報学専攻¹,
工学院大学情報学部情報デザイン学科²)
- P3 高次視覚段階における運動処理は時間知覚を伸長させる
山本健太郎^{1,2}, 三浦佳世³ (九州大学大学院人間環境学府¹,
日本学術振興会², 九州大学大学院人間環境学研究院³)
- P5 前後方向ベクトルの異方性における速度依存
畠山忠士, 金子寛彦
(東京工業大学大学院総合理工学研究科)
- P7 水彩効果図形における拡散色に寄与する色成分の相対強度を規定する要因の検討
黒木美日子¹, 木村英司²
(千葉大学大学院人文社会科学研究科¹, 千葉大学文学部²)
- P9 ヒストグラム分布が等しい自然画像における色弁別の画像依存性
徐 承一, 矢口博久, 溝上陽子 (千葉大学大学院融合科学研究科)
- P11 色の見えに関する空間的文脈効果における視覚的気づきの影響
堀内孝治^{1,2}, 栗木一郎^{1,2}, 塩入 諭^{1,2}, 松宮一道^{1,2}
(東北大学大学院情報科学研究科¹, 東北大学電気通信研究所²)
- P13 オオウチ錯視におけるチェッカー要素の明度ならびに色の影響
松井陽生, 堀井 健, 小谷賢太郎, 朝尾隆文 (関西大学大学院理工学研究科)
- P15 カラー印刷物知覚時のヒト視覚野における fMRI 応答
山本洋紀¹, 山城博幸¹, 川島康裕², 市村好克², 村瀬智一³, 梅田雅宏³, 樋口敏宏³

- (京都大学¹, キヤノン株式会社², 明治国際医療大学³)
- P17 映像遅延下における時間感覚と自己認知の脳活動による検討
橋口真帆¹, 河原哲夫¹, 田中靖人²
(金沢工業大学大学院工学研究科バイオ・化学専攻¹, (株)三城 光学研究所²)
- P19 意識の及ぶ範囲と位置および深さが微小跳躍眼球運動の動特性に与える影響
板倉翔吾, 金子寛彦 (東京工業大学大学院総合理工学研究科)
- P21 他者の視線方向が聴覚定位に及ぼす影響
助宮 治¹, 三浦佳世²
(九州大学大学院人間環境学府¹, 九州大学大学院人間環境学研究院²)
- P23 顔表情に対して随伴色残効は生起するか?
服部恭臣, 福田一帆, 内川恵二 (東京工業大学大学院総合理工学研究科)
- P25 両眼間速度差検出メカニズムの空間周波数選択性
陳 智翔¹, 松宮一道^{1,2}, 栗木一郎^{1,2}, 塩入 論^{1,2}
(東北大学大学院情報科学研究科¹, 東北大学電気通信研究所²)
- 16:10-16:20 休憩
- 16:20-17:50 セッション2 (鶴飼一彦先生追悼講演) 座長: 内川恵二 (東京工業大学)
- S1 鶴飼一彦先生を偲んで 内川恵二 (東京工業大学大学院総合理工学研究科)
- S2 映像酔いによる生体影響とガイドラインの国際標準化
氏家弘裕 ((独) 産業技術総合研究所ヒューマンライフテクノロジー研究部門)
- S3 眼光学, 調節の測定, 視覚との関係 三橋俊文 ((株) トプコン研究開発センター)
- S4 ステレオ映像視聴時の調節・輻輳の動的反応の測定
棚橋重仁¹, 鳥居正人², 福嶋哲也², 岡田侑樹², 中村直樹², 鶴飼一彦¹
(早稲田大学理工学術院¹, 早稲田大学大学院先進理工学研究科²)
- S5 眼光学特性の個人差を考慮した分光視感度の簡易測定法
鈴木さおり¹, 高山圭介¹, 鈴木敬明², 岡嶋克典¹
(横浜国立大学大学院¹, 静岡工業技術研究所²)
- 17:50-18:00 休憩
- 18:00-20:00 懇親会

2日目(2010年8月3日火曜日)

- 9:30-10:30 幹事会・世話人会
- 10:30-12:00 **ポスターセッション2**
- P2 輝度コントラストとノイズが運動情報の空間的相互作用へ与える影響 - 視野闘争による検討
花田光彦 (公立ほこだて未来大学)
- P4 運動方向知覚における周辺運動の効果
木村 翔¹, 坂田勝亮², 金子寛彦³, 瀬川かおり¹, 鶴飼一彦¹
(早稲田大学大学院先進理工学研究科¹, 女子美術大学芸術学科², 東京工業大学大学院総合理工学研究科³)
- P6 安定的結合錯視現象について
尾沢陽子, 市原 茂 (首都大学東京)
- P8 動画における視覚の時間周波数特性
勝俣祐輝, 矢口博久, 溝上陽子 (千葉大学大学院融合科学研究科)
- P10 両眼視差の有無が実物体の色恒常性の成立度合いに与える影響
深瀬貴大, 福田一帆, 内川恵二 (東京工業大学大学院総合理工学研究科)
- P12 瞬間呈示刺激の明るさ同時対比
金子沙永, 村上郁也 (東京大学大学院総合文化研究科)
- P14 刺激の提示時間と格子の長さが格子型消失錯視に与える影響
蘭 悠久¹, 北岡明佳²
(立命館大学立命館グローバルイノベーション研究機構¹, 立命館大学文学部²)
- P16 視覚性短期記憶容量に関連した頭頂間溝のトポグラフィック領域のfMRI応答
金津将庸¹, 山本洋紀¹, 澤本伸克², 福山秀直², 齋木 潤¹
(京都大学大学院人間・環境学研究科¹, 京都大学大学院医学研究科²)
- P18 映像作品視聴による生体への影響の調査～頭痛の発症率～
堀江悠介¹, 川村祐太², 山田光穂²
(東海大学大学院工学研究科情報理工学専攻¹, 東海大学²)
- P20 眼球運動を利用したスクリーニング用視野検査システムの開発
吉川遼太¹, 田村俊樹², 小谷賢太郎³, 朝尾隆文³
(関西大学大学院理工学研究科¹, 三菱電機株式会社², 関西大学システム理工学部³)
- P22 魅力的な顔の記憶における男女差
藏口佳奈, 蘆田 宏 (京都大学大学院文学研究科)
- P24 広い視野中の視差の変化が頭部方向の制御に与える影響
前川亮, 金子寛彦 (東京工業大学大学院総合理工学研究科)
- 12:00-12:20 総会
- 12:20-13:20 昼休み
- 13:20-15:00 **セッション3** 座長:塩入 諭 (東北大学)
- O5 自然画像理解における空間周波数情報統合のタイムコース
木原 健^{1,2}, 武田裕司² (日本学術振興会¹, 産業技術総合研究所²)
- O6 Craik-O'Brien-Cornsweet 錯視における面の明るさ処理の統合時間範囲
渡邊淳司^{1,2}, 益田綾子³, 寺尾将彦⁴, 八木昭宏⁵, 丸谷和史²
(日本学術振興会¹, NTTコミュニケーション科学基礎研究所²,

- 関西学院大学文学部総合心理科学科（現：本田技研工業（株式会社）³，
 東京大学大学院総合文化研究科⁴，関西学院大学文学部総合心理科学科⁵）
- O7 コントラスト弁別感度の加齢変化と高齢者視覚シミュレーション
 岩元健治¹，徐 爽²，岡嶋克典¹
 （横浜国立大学環境情報学府¹，富士通株式会社²）
- O8 Motion binding に対する頂点の影響
 中嶋 豊¹，佐藤隆夫²（東京大学インテリジェントモデリングラボラトリー¹，
 東京大学大学院人文社会系研究科²）
- O9 長期色順応中における短期色順応に対する残像強度の変化
 今井千尋¹，栗木一郎²，渡辺正峰³，鈴木秀幸^{1,4}
 （東京大学大学院情報理工学系研究科¹，東北大学電気通信研究所²，
 東京大学大学院工学系研究科³，東京大学生産技術研究所⁴）
- 15:00-15:10 休憩
- 15:10-16:10 セッション 4 座長：岡嶋克典（横浜国立大学）
- O10 水平像差と垂直像差の統合の仕組み
 光藤宏行¹，酒井 歩²，金子寛彦³（九州大学大学院人間環境学研究院¹，
 九州大学大学院人間環境学府²，東京工業大学大学院総合理工学研究科³）
- O11 ミュラー・リヤー立体刺激による奥行き対比
 原田新也（九州大学大学院人間環境学府）
- O12 物体配置における環境座標表現の無意識的獲得
 土合大河¹，松宮一道^{1,2}，栗木一郎^{1,2}，塩入 諭^{1,2}
 （東北大学大学院情報科学研究科¹，東北大学電気通信研究所²）
- 16:10-16:20 休憩
- 16:20-17:20 セッション 5 座長：金子寛彦（東京工業大学）
- O13 刺激の運動による時間変化検出感度低下と注意による回復
 塩入 諭（東北大学電気通信研究所）
- O14 中心単一課題による注意分割能力の向上と周辺視機能の改善
 荻谷光晴¹，塩入 諭¹，西村聡生^{2,3}，筒井健一郎²，木村賢治⁴
 （東北大学電気通信研究所¹，東北大学大学院生命科学研究科²，
 上智大学総合人間科学部³，トヨタ自動車株式会社車両技術開発部⁴）
- O15 注意のセントラル・バイアスはワーキング・メモリへのボトルネックとして機能する
 白間 綾^{1,2,3}，竹内龍人³（お茶の水女子大学大学院人間文化創成科学研究科¹，
 JST CREST²，NTT コミュニケーション科学基礎研究所³）
- 17:20-17:25 休憩
- 17:25-17:30 ベストプレゼンテーション賞授与式
- 17:30-17:40 閉会